

排尿障害

(おしっこ悩み)



年をとると多くなってくる悩みで、ほんとうに困っている人も多いと思います。

けつきよくはご自分である程度対策を考えていただくしか方法はありませんが医師にもご相談下さい。

一、おしっこをためることがむずかしくなる。

頻尿(何回もおしっこにく)く)、尿失禁(おしっこをもらす)

二、おしっこが出にくくなる。

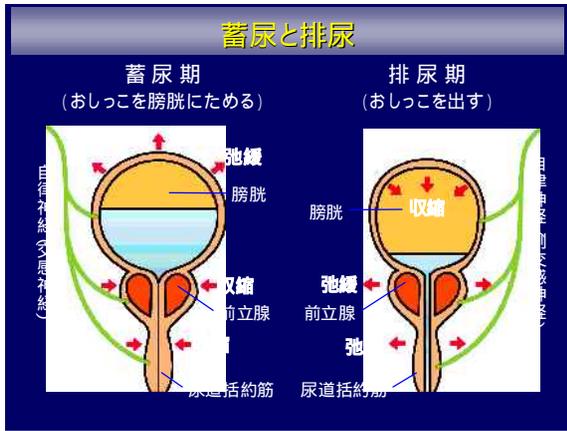
おしっこは腎臓でつくられ、膀胱に溜まりますがこのとき膀胱の筋肉がゆるんで膀胱が大きくなり、膀胱の出口の筋肉がギューッと収縮しています。

ふつう膀胱におしっこが一杯になっても、神経のはたらきでおしっこをがまんすることができます。

トイレに行くと、この出口の筋肉がゆるんで膀胱の壁の筋肉が縮んでおしっこが出ます。

こういう調節を神経と筋肉がうまく働いて行っていますが年をとるとこういう調節がうまくゆかなくなったり筋肉の力が弱くなったりするのでいろいろ問題がおこります。

スライド



三、男性ではこれに前立腺肥大が加わります。

中高年の女性で咳やくしゃみでおこる尿失禁(おしっこもれ)は、お産や肥満、更年期のホルモン変化などで筋肉が弱くなり、お腹に力が入ったときおしっこがもれるのを抑えられなくなってしまうおこります。

三、男性ではこれに前立腺肥大が加わります。



前立腺は、膀胱の出口のところにあり尿道を取り囲むようになっていきます。

高齢になるに従って、前立腺が大きくなり六十才以上の人の約半数に前立腺肥大があります。前立腺肥大になりますと尿道が締めつけられ、おしっこの出が悪くなります。

おしっこをためること、出すことがさらにむずかしくなり、おしっこの悩みが大きくなります。

四、薬でも、おしっこの悩みをひどくするものがあります。



高血圧や不整脈、睡眠剤、抗アレルギー剤、胃潰瘍剤などが主なものです。

五、治療

運動  
膀胱の筋をきたえる。

くすり

手術  
(前立腺肥大、女性の尿失禁)



宮北先生(東海大)のスライドを使わせていただきました。

十二月三十一日(水)

当院長が休日診療所の当番です。

11月・12月の休診日  
(日曜・祭日  
水曜・土曜・第4木曜午後)

12月9日午後(火)  
12月29日(月)~  
1月3日(土)  
年末年始  
休診

E・メールを送って下さい。  
norikazu@okutu.jp

みなさんの質問や投稿をお待ちしております。

受け付けからのお願い  
月初めには必ず保険証を受け付けにお出し下さい。  
診察券は毎回お持ち下さい。

編集に当たり校正には十分注意致しましたが、誤字・脱字等がありましたらご容赦下さい。

